

2019年9月末中間決算／本業赤字の状況

本業赤字の銀行数（19/9、104行）

	地域銀行数
赤字先	50行
うち増益	24行
うち減益	26行

(注) 増益、減益は18/9→19/9

【参考】18/3期（106行）、19/3期（105行）

	18/3	19/3
赤字先	54行	46行
うち増益	27行	35行
うち減益	27行	11行

(注) 増益、減益は19/3期:18/3→19/3、18/3期:17/3→18/3

出典：金融庁作成資料

令和元年11月29日（金） 衆議院 財務金融委員会 衆議院議員 階 猛（立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム）

日本銀行政策委員のCPIインフレ率見通し

(前年比、%)

	2013年度 見通し	2014年度 見通し	2015年度 見通し	2016年度 見通し	2017年度 見通し	2018年度 見通し	2019年度 見通し	2020年度 見通し	2021年度 見通し
2013年1月	0.4	0.9							
4月	0.7	1.4	1.9						
7月	0.6	1.3	1.9						
10月	0.7	1.3	1.9						
2014年1月	0.7	1.3	1.9						
4月	0.8	1.3	1.9	2.1					
7月		1.3	1.9	2.1					
10月		1.2	1.7	2.1					
2015年1月		0.9	1.0	2.2					
4月		0.8	0.8	2.0	1.9				
7月			0.7	1.9	1.8				
10月			0.1	1.4	1.8				
2016年1月			0.1	0.8	1.8				
4月			0.0	0.5	1.7	1.9			
7月				0.1	1.7	1.9			
10月				-0.1	1.5	1.7			
2017年1月				-0.2	1.5	1.7			
4月				-0.3	1.4	1.7	1.9		
7月					1.1	1.5	1.8		
10月					0.8	1.4	1.8		
2018年1月					0.8	1.4	1.8		
4月					0.7	1.3	1.8	1.8	
7月						1.1	1.5	1.6	
10月						0.9	1.4	1.5	
2019年1月						0.8	0.9	1.4	
4月						0.8	0.9	1.3	1.6
7月							0.8	1.2	1.6
10月							0.5	1.0	1.5
実績値	0.8	0.8	-0.1	-0.2	0.7	0.8	0.6	—	—

(注) 1. 政策委員見通しの中央値。

2. CPIインフレ率は、総合除く生鮮食品。消費税率引き上げ・教育無償化政策の影響を除くケース。

3. 実績値の19年度は、4~9月の値。

(出所) 日本銀行、総務省

出典：日本銀行・総務省 作成資料

令和元年11月29日(金) 衆議院 財務金融委員会 衆議院議員 階 猛 (立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム)

表1 現行の金融政策の枠組みにおける3本のフォワードガイダンス

[平成25(2013)年4月導入]

① 2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、これを安定的に持続するために必要な時点まで、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続する。

[平成28(2016)年9月導入]

② 消費者物価指数(除く生鮮食品)の前年比上昇率の実績値が安定的に2%を超えるまで、マネタリーベースの拡大方針を継続する。【オーバーシュート型コミットメント】

[平成30(2018)年7月導入]

③ 2019年10月に予定されている消費税率引き上げの影響を含めた経済・物価の不確実性を踏まえ、当分の間、現在のきわめて低い長短金利の水準を維持することを想定している。【政策金利のフォワードガイダンス】

(注) ①の文言のうち「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の部分は、政策名称の変遷に伴って変更されてきた。

表2 政策金利のフォワードガイダンスの変遷

③ 日本銀行は、海外経済の動向や消費税率引き上げの影響を含めた経済・物価の不確実性を踏まえ、当分の間、少なくとも2020年春頃まで、現在のきわめて低い長短金利の水準を維持することを想定している。(2019年4月)



③ 日本銀行は、政策金利については、「物価安定の目標」に向けたモメンタムが損なわれる惧れに注意が必要な間、現在の長短金利の水準、または、それを下回る水準で推移することを想定している。(2019年10月)

出典：国立国会図書館作成資料をもとに階猛事務所で作成

令和元年11月29日(金) 衆議院 財務金融委員会 衆議院議員 階 猛 (立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム)

9. 保有有価証券の時価情報

<国債>

(単位:億円)

	価 額	時 価	評価損益
31/3 月末	4,699,538	4,859,898	160,359
元/9 月末	4,796,810	5,002,420	205,610

<コマーシャル・ペーパー等>

(単位:億円)

	価 額	時 価	評価損益
31/3 月末	20,420	20,420	—
元/9 月末	21,916	21,916	—

<社債>

(単位:億円)

	価 額	時 価	評価損益
31/3 月末	32,066	32,016	△50
元/9 月末	31,428	31,399	△28

<金銭の信託(信託財産株式)>

(単位:億円)

	価 額	時 価	評価損益
31/3 月末	8,735	19,895	11,159
元/9 月末	8,063	18,933	10,870

<金銭の信託(信託財産指数連動型上場投資信託)>

(単位:億円)

	価 額	時 価	評価損益
31/3 月末	250,011	289,136	39,124
元/9 月末	276,213	316,112	39,898

<金銭の信託(信託財産不動産投資信託)>

(単位:億円)

	価 額	時 価	評価損益
31/3 月末	5,121	6,256	1,134
元/9 月末	5,293	7,405	2,112

(注1) 金銭の信託は、信託財産(約定ベース)のみを対象としているため、上記の帳簿価額は貸借対照表価額とは必ずしも一致しない。

(注2) 時価は、期末日における市場価格等に基づいている。

10. 概算納付金

第135回事業年度(令和元年度)に係る国庫納付金の概算納付は行わないこととした。

緩和の副作用 懸念



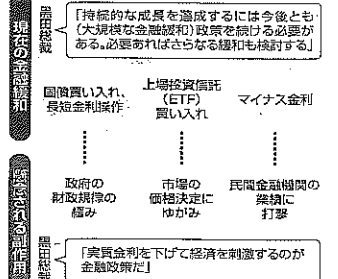
黒田氏所信

「物価2%」強調

日本銀行の黒田博樹総裁が、3日、衆議院議員会館で開かれた「黒田総裁の所信表明記者会見」で、物価目標の達成を強調した。約6年に及ぶ長期金利の引き上げを断念し、ゼロ金利を維持し、金融緩和の効果を最大限に発揮する。財政規律を堅持する方針を示した。黒田総裁の所信表明記者会見の様子は、日本放送協会（NHK）のテレビ番組で放送された。

財政規律の緩み・低金利 地銀を圧迫

現在の金融政策と次期体制に待ち受ける課題



がなげに押し上げ、実質金利を下げ、経済を刺激するのが金融政策だ。民間金融機関の業績に打撃を及ぼす。新たな金融緩和を迫られるリスクを日銀は懸念している。

TOKYO MARKET 2日	
TOPIX (第1部時価)	1708.34
日経平均株価	-31.86
日経平均株価	21181円64銭
542円83銭安	
105円73銭	1円07銭
105円75銭	円高
	(対ドル1.1797現在)
長期 (350日償)	0.065%
短期	-0.050%
	+0.022%
売り	4911円
	-17円
買い	4826円
	-15円
	(売買税込み、店頭価格1円)
ドバイ原油	60.27円
	(米ドル100円換算)
	-0.93%

金融機関

「金利条件が厳格化」す。金融機関が地銀に貸付を渋る。地銀の収益が低下し、経営が厳格化している。地銀の収益が低下し、経営が厳格化している。地銀の収益が低下し、経営が厳格化している。

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した。長期金利は0.065%から0.050%に低下し、為替は円高傾向にある。

「口」の口角

「口」の口角。黒田氏の発言で市場が反応し、物価目標の達成を強調した。市場は物価目標の達成を歓迎し、長期金利の引き上げを断念することを評価した。

企業業績

企業業績。黒田氏の発言で市場が反応し、物価目標の達成を強調した。市場は物価目標の達成を歓迎し、長期金利の引き上げを断念することを評価した。

現在の金融政策と次期体制に待ち受ける課題

現在の金融政策と次期体制に待ち受ける課題。黒田氏の発言で市場が反応し、物価目標の達成を強調した。市場は物価目標の達成を歓迎し、長期金利の引き上げを断念することを評価した。

金融機関

金融機関。黒田氏の発言で市場が反応し、物価目標の達成を強調した。市場は物価目標の達成を歓迎し、長期金利の引き上げを断念することを評価した。

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した。長期金利は0.065%から0.050%に低下し、為替は円高傾向にある。

「口」の口角

「口」の口角。黒田氏の発言で市場が反応し、物価目標の達成を強調した。市場は物価目標の達成を歓迎し、長期金利の引き上げを断念することを評価した。

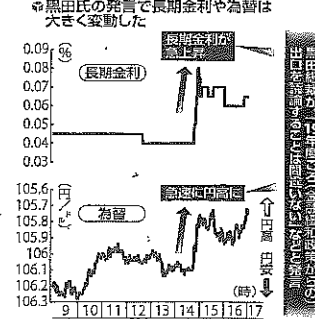
黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した。長期金利は0.065%から0.050%に低下し、為替は円高傾向にある。

「告」言及株安に拍車

黒田総裁 長期金利が急上昇

黒田総裁の発言で市場が反応し、物価目標の達成を強調した。市場は物価目標の達成を歓迎し、長期金利の引き上げを断念することを評価した。株安に拍車をかけた。



黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した。長期金利は0.065%から0.050%に低下し、為替は円高傾向にある。

「口」の口角

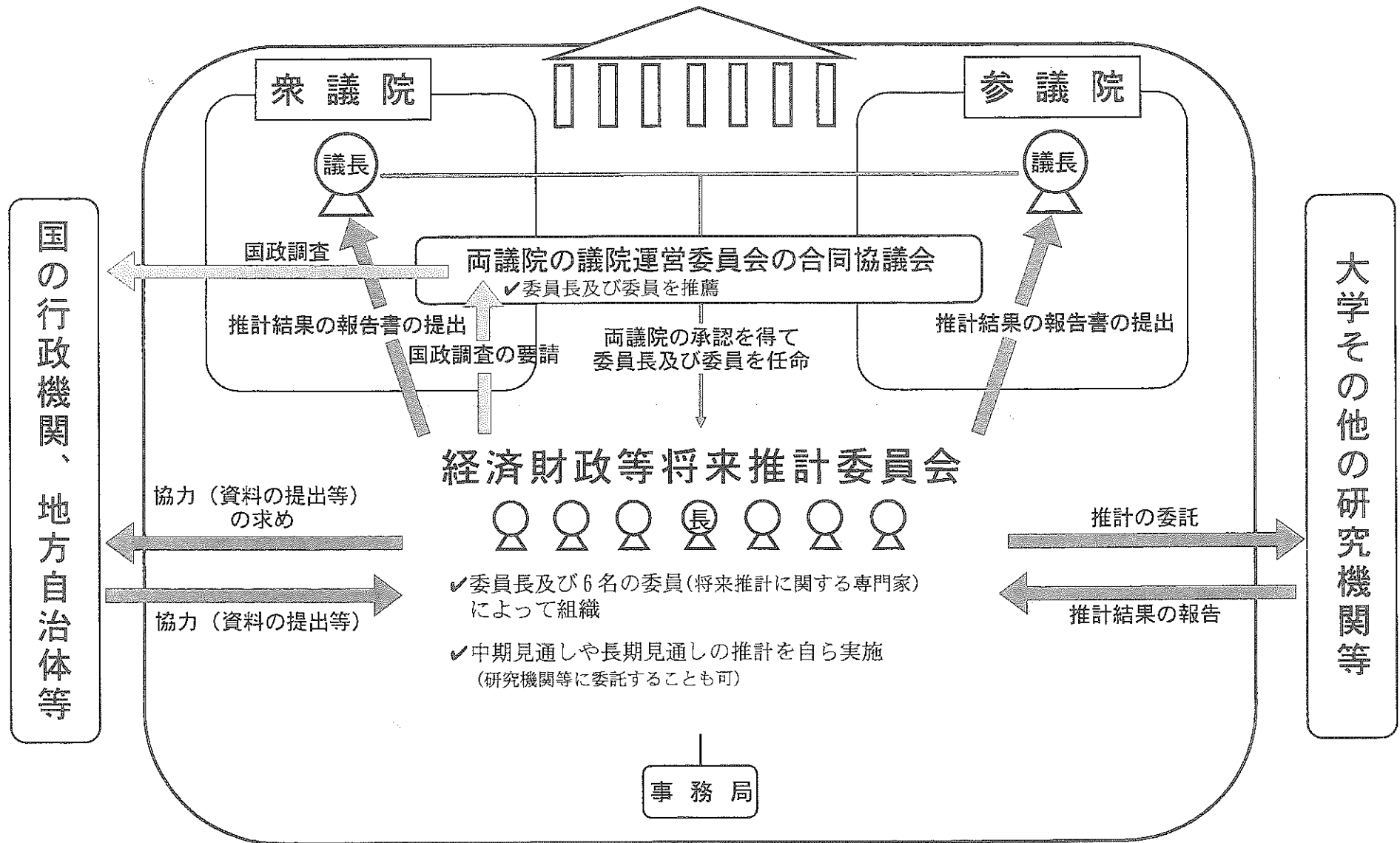
「口」の口角。黒田氏の発言で市場が反応し、物価目標の達成を強調した。市場は物価目標の達成を歓迎し、長期金利の引き上げを断念することを評価した。

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した

黒田氏の発言で長期金利や為替が大きく変動した。長期金利は0.065%から0.050%に低下し、為替は円高傾向にある。

経済財政等将来推計委員会関連法案について

経済財政等将来推計委員会の活動イメージ



出典：国民民主党「経済財政等将来推計委員会関連法案」（令和元年 6月14日提出）資料

令和元年11月29日（金）衆議院 財務金融委員会 衆議院議員 階 猛（立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム）